地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和3年2月26日

関東運輸局

評価対象事業名: 地域間幹線系統確保維持費用国庫補助金

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)	地方運輸局等における	備考
							二次評価結果	
							評価結果	
群馬県生活交通対策協議会	上信電鉄(株) 中央前橋駅～高崎駅	中央前橋駅～京目～高崎駅の運行 車輻減価償却費等国庫補助適用	高崎駅バス案内所、前橋駅バス案内所に時刻表を配布し利用促進を促した。 また、小型ノンステップバスを導入し、高齢者や障がい者の利用促進を図った。	A 計画通り事業は適切に実施された。	C 輸送人員(目標):54,366人 輸送人員(実績):53,609人 コロナ禍により乗客が減少したため目標値を下回った。	各バス案内所を活用し沿線住民に時刻表の配布を行う。また病院などの施設にも設置するように努める。 補助金を利用してオゾン発生器の導入や交通系ICカードを導入(予定)してコロナ禍における感染防止対策を継続して行う。	・事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施されている。 ・目標・効果達成状況の未達成の要因として、新型コロナウイルス感染症の影響であることが確認できる。 ・情報提供の実施については、ターゲットを明確化するなどの効果的な情報提供を行うことが望ましい。 ・広域な交通ネットワークの構築には、都県にイニシアチブを取っていただくことが重要であることから、市町村と連携を図ったうえで、データを活用しながらモニターを行い、必要に応じて改善していくなど、最適なネットワークの構築に向けて継続的に議論がなされることを期待する。	
	上信電鉄(株) 前橋駅～高崎駅	前橋駅～京目～高崎駅の運行 車輻減価償却費等国庫補助適用	高崎駅バス案内所、前橋駅バス案内所に時刻表を配布し利用促進を促した。 また、小型ノンステップバスを導入し、高齢者や障がい者の利用促進を図った。	A 計画通り事業は適切に実施された。	C 輸送人員(目標):48,956人 輸送人員(実績):44,710人 コロナ禍により乗客が減少したため目標値を下回った。	各バス案内所を活用し沿線住民に時刻表の配布を行う。また病院などの施設にも設置するように努める。 補助金を利用してオゾン発生器の導入や交通系ICカードを導入(予定)してコロナ禍における感染防止対策を継続して行う。		
	関越交通(株) 高崎駅～渋川駅	高崎駅～イオンモール高崎前・群馬温泉～渋川駅の運行 車輻減価償却費等国庫補助適用	・企画回数券を継続販売をした。 ・R2年4月に高崎市、渋川市、吉岡町の協力により沿線周辺の住民に、時刻表やバスの乗り方、回数券等を掲載したチラシを配布した。 ・R2年4月より運賃精算にICカード(PASMO)を導入、1円単位運賃とバス利用特典サービス(バス特)を実施した。 ・R2年4月にICカード導入に伴う機器更新により、英語による車内案内放送を開始した。	A 計画通り事業は適切に実施された。	C 輸送人員(目標):186,045人 輸送人員(実績):173,938人 新型コロナウイルス感染症の拡大による外出自粛等の影響で減少し、目標は未達となった。	・高崎市、渋川市、吉岡町の協力のもと、沿線住民へ時刻表やバスの乗り方、沿線にある商業施設を掲載したチラシを配布し利用促進を図る。 ・高崎駅～渋川駅区間回数券の販売強化策を講じ収入増を図る。 ・ICカード精算の利用促進により停車時間を短縮し、定時性を高めることで利便性の向上を図る。 ・商業施設等を経由する系統を増回し、利用者増を図る。 ・クレベリン(二酸化塩素ガス)発生機および高濃度オゾンガス発生機による除菌等、新型コロナウイルス感染症予防対策を確実に実施し、安全性の周知PRを図る。	・事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施されている。 ・目標・効果達成状況の未達成の要因として、新型コロナウイルス感染症の影響であることが確認できる。 ・ICカードの利用状況などから得られたデータを活用し利用者の流動実態を把握した上で、運行計画改善の検討を進めていくことが望ましい。 ・広域な交通ネットワークの構築には、都県にイニシアチブを取っていただくことが重要であることから、市町村と連携を図ったうえで、データを活用しながらモニターを行い、必要に応じて改善していくなど、最適なネットワークの構築に向けて継続的に議論がなされることを期待する。	
	関越交通(株) 高崎駅～群馬温泉	高崎駅～イオンモール高崎前～群馬温泉の運行 車輻減価償却費等国庫補助適用	・企画回数券を継続販売をした。 ・R2年4月に高崎市、渋川市、吉岡町の協力により沿線周辺の住民に、時刻表やバスの乗り方、回数券等を掲載したチラシを配布した。 ・R2年4月より運賃精算にICカード(PASMO)を導入、1円単位運賃とバス利用特典サービス(バス特)を実施した。 ・R2年4月にICカード導入に伴う機器更新により、英語による車内案内放送を開始した。	A 計画通り事業は適切に実施された。	A 輸送人員(目標):75,993人 輸送人員(実績):84,126人 下期は新型コロナウイルス感染症の拡大による外出自粛等の影響で減少したが、上期の増加により目標は達成された。	・高崎市、渋川市、吉岡町の協力のもと、沿線住民へ時刻表やバスの乗り方、沿線にある商業施設を掲載したチラシを配布し利用促進を図る。 ・高崎駅～渋川駅区間回数券の販売強化策を講じ収入増を図る。 ・ICカード精算の利用促進により停車時間を短縮し、定時性を高めることで利便性の向上を図る。 ・商業施設等を経由する系統を増回し、利用者増を図る。 ・クレベリン(二酸化塩素ガス)発生機および高濃度オゾンガス発生機による除菌等、新型コロナウイルス感染症予防対策を確実に実施し、安全性の周知PRを図る。		
関越交通(株) けやきウォーク前橋～富士見温泉	けやきウォーク前橋～前橋駅・中央前橋駅～富士見温泉の運行	・R2年3月に沿線周辺の住民に、時刻表やバスの乗り方等を掲載したチラシを配布した。 ・R2年4月より運賃精算にICカード(PASMO)を導入、1円単位運賃とバス利用特典サービス(バス特)を実施した。 ・R2年4月にICカード導入に伴う機器更新により、英語による車内案内放送を開始した。	A 計画通り事業は適切に実施された。	A 輸送人員(目標):94,369人 輸送人員(実績):109,150人 下期は新型コロナウイルス感染症の拡大による外出自粛等の影響で減少したが、上期の増加により目標は達成された。	・富士見町小暮地区・富士見町沢地区沿線のバス停を中心に時刻表やバスの乗り方、沿線にある商業施設を掲載したチラシを配布し利用促進を図る。 ・JR時刻改正の際は前橋駅での接続を確認し、引き続き利便性の確保を図る。 ・ICカード精算の利用促進により停車時間を短縮し、定時性を高めることで利便性の向上を図る。 ・クレベリン(二酸化塩素ガス)発生機および高濃度オゾンガス発生機による除菌等、新型コロナウイルス感染症予防対策を確実に実施し、安全性の周知PRを図る。			

群馬県生活交通対策協議会

<p>関越交通(株) 沼田駅～群大病院</p>	<p>沼田駅～関越自動車道～群大病院の運行</p>	<p>・沼田市、昭和村、川場村(R2年3月)、群大病院の院外薬局内(R2年9月)において、時刻表やバス停の位置、回数券情報を掲載したチラシを配布した。</p>	<p>A 計画通り事業は適切に実施された。</p>	<p>C 輸送人員(目標):16,744人</p>	<p>・沼田市及び周辺市町村において、時刻表やバス停の位置、回数券、往復乗車券、定期券の優位性をアピールした情報を掲載したチラシを配布し利用促進を図る。また、群大病院の利用者等に周知出来るよう配布場所の追加を検討する。 ・クレベリン(二酸化塩素ガス)発生機および高濃度オゾンガス発生機による除菌等、新型コロナウイルス感染症予防対策を確実に実施し、安全性の周知PRを図る。</p>
				<p>C 輸送人員(実績):14,298人</p>	
				<p>新型コロナウイルス感染症の拡大による外出自粛等の影響で減少し、目標は未達となった。</p>	
				<p>輸送人員(実績):14,298人</p>	
<p>関越交通(株) 沼田市保健福祉センター前～猿ヶ京</p>	<p>沼田保健福祉センター前～沼田駅・後閑駅・上毛高原駅・たぐみの里～猿ヶ京の運行</p>	<p>・R2年4月にみなかみ町の協力のもと、時刻表やバスの乗り方を掲載したチラシを配布。 ・引き続き訪日外国人旅行者向け企画乗車券を海外旅行者を通じネット販売を実施するとともに、国内旅行者向けの企画乗車券の販売を実施した。 ・運行回数を見直し、運行の効率化を図った。 ・R2年4月より運賃精算にICカード(PASMO)を導入、1円単位運賃とバス利用特典サービス(バス特)を実施した。 ・R2年4月にICカード導入に伴う機器更新により、英語による車内案内放送を開始した。</p>	<p>A 計画通り事業は適切に実施された。</p>	<p>C 輸送人員(目標):84,261人</p>	<p>・沼田市・みなかみ町の協力のもと、時刻表やバス乗り方を記載したチラシを配布する。 ・JR時刻改正の際は各駅との接続を確認し、引き続き利便性の確保を図る。 ・企画乗車券の販売強化により観光客の利用増を図る。 ・ICカード精算の利用促進により停車時間を短縮し、定時性を高めることで利便性の向上を図る。 ・クレベリン(二酸化塩素ガス)発生機および高濃度オゾンガス発生機による除菌等、新型コロナウイルス感染症予防対策を確実に実施し、安全性の周知PRを図る。</p>
				<p>C 輸送人員(実績):71,197人</p>	
				<p>新型コロナウイルス感染症の拡大による外出自粛等の影響で減少し、目標は未達となった。</p>	
				<p>輸送人員(実績):71,197人</p>	
<p>関越交通(株) 沼田駅～尾瀬戸倉</p>	<p>沼田駅～老神温泉・鎌田～尾瀬戸倉の運行</p>	<p>・R2年4月に片品村の協力により沿線周辺の住民に、時刻表やバスの乗り方を掲載したチラシを配布した。 ・企画乗車券の特典を見直し販売強化を図った。 ・引き続き客貨混載事業による増収を図った。 ・R2年4月より運賃精算にICカード(PASMO)を導入、1円単位運賃とバス利用特典サービス(バス特)を実施した。 ・R2年4月にICカード導入に伴う機器更新により、英語による車内案内放送を開始した。</p>	<p>A 計画通り事業は適切に実施された。</p>	<p>C 輸送人員(目標):83,010人</p>	<p>・沼田市、片品村の協力のもと、沿線の住民に、時刻表やバス乗り方を記載したチラシを配布する。 ・JR時刻改正の際は各駅との接続を確認し、引き続き利便性の確保を図る。 ・客貨混載事業についてヤマト運輸との連携を密にし輸送量の拡大を図る。 ・企画乗車券の販売強化により観光客の利用増を図る。 ・ICカード精算の導入・利用促進により停車時間を短縮し、定時性を高めることで利便性の向上を図る。 ・クレベリン(二酸化塩素ガス)発生機および高濃度オゾンガス発生機による除菌等、新型コロナウイルス感染症予防対策を確実に実施し、安全性の周知PRを図る。</p>
				<p>C 輸送人員(実績):59,103人</p>	
				<p>新型コロナウイルス感染症の拡大による外出自粛等の影響で減少し、目標は未達となった。</p>	
				<p>輸送人員(実績):59,103人</p>	
<p>関越交通(株) 沼田駅～鎌田</p>	<p>沼田駅～鎌田の運行</p>	<p>・R2年4月に片品村の協力により沿線周辺の住民に、時刻表やバスの乗り方を掲載したチラシを配布した。 ・企画乗車券の特典を見直し販売強化を図った。 ・引き続き客貨混載事業による増収を図った。 ・R2年4月より運賃精算にICカード(PASMO)を導入、1円単位運賃とバス利用特典サービス(バス特)を実施した。 ・R2年4月にICカード導入に伴う機器更新により、英語による車内案内放送を開始した。</p>	<p>A 計画通り事業は適切に実施された。</p>	<p>C 輸送人員(目標):48,685人</p>	<p>・沼田市、片品村の協力のもと、沿線の住民に、時刻表やバス乗り方を記載したチラシを配布する。 ・JR時刻改正の際は各駅との接続を確認し、引き続き利便性の確保を図る。 ・客貨混載事業についてヤマト運輸との連携を密にし輸送量の拡大を図る。 ・企画乗車券の販売強化により観光客の利用増を図る。 ・ICカード精算の導入・利用促進により停車時間を短縮し、定時性を高めることで利便性の向上を図る。 ・クレベリン(二酸化塩素ガス)発生機および高濃度オゾンガス発生機による除菌等、新型コロナウイルス感染症予防対策を確実に実施し、安全性の周知PRを図る。</p>
				<p>C 輸送人員(実績):38,738人</p>	
				<p>新型コロナウイルス感染症の拡大による外出自粛等の影響で減少し、目標は未達となった。</p>	
				<p>輸送人員(実績):38,738人</p>	
<p>(株)群馬バス 高崎～室田</p>	<p>高崎駅～里見～室田営業所の運行 車両減価償却費等国庫補助適用</p>	<p>高崎市住民に時刻表の配布をおこなうとともに、各自治体の公共施設や沿線高校等に時刻表を設置し、利用促進を図った。</p>	<p>A 計画通り事業は適切に実施された。</p>	<p>C 輸送人員(目標):92,931人</p>	<p>利用者アンケートは新型コロナウイルスの影響で利用者が減少したため実施は見送った。現在モコナ橋が進行中であるが生活様式が一変した中でも利用状況を把握し利用しやすい環境を整え、適切な運行を行う。また、県交通政策課を中心にICカード導入に向けて協議を進めており、キャッシュレス化を目指す。</p>
				<p>C 輸送人員(実績):82,684人</p>	
				<p>輸送人員は新型コロナウイルスの影響により目標に達しなかった。</p>	
<p>(株)群馬バス 高崎～榛名湖</p>	<p>高崎駅～本郷～榛名湖の運行 車両減価償却費等国庫補助適用</p>	<p>高崎市住民に時刻表の配布をおこなうとともに、各自治体の公共施設や高崎経済大学等に時刻表を設置し、利用促進を図った。また、引続き榛名湖～伊香保温泉線、伊香保温泉～高崎線へ接続、JRの協力の得てフリーバスを販売し利用客の利便性を図った。</p>	<p>A 冬季は積雪による路面凍結のため運行できない区間があったが、事業は適切に実施された。</p>	<p>C 輸送人員(目標):108,627人</p>	<p>当系統は期間限定でJR東日本が進めているMaaSのオプションとして参加しており、コロナ禍においてキャッシュレス化を推進している。引続き利用客の利便性の向上を図るべくフリーバスをアピールする。また、県交通政策課を中心にICカード導入に向けて協議を進めており、キャッシュレス化を目指す。</p>
				<p>C 輸送人員(実績):79,377人</p>	
				<p>輸送人員は新型コロナウイルスの影響により目標に達しなかった。</p>	

・事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施されている。
・目標・効果達成状況の未達成の要因として、新型コロナウイルス感染症の影響であることが確認できる。
・利用者からの要望による運行計画の変更は評価できる。利用状況等の検証を行うとともに、引き続き効果的な利用促進策を実施することが望ましい。
・広域な交通ネットワークの構築には、都県にイニシアチブを取っていただくことが重要であることから、市町村と連携を図ったうえで、データを活用しながらモニターを行い、必要に応じて改善していくなど、最適なネットワークの構築に向けて継続的に議論がなされることを期待する。

群馬県生活交通対策協議会	(株)群馬バス 高崎～榛東村役場	高崎駅～上郊～榛東村役場の運行 車両減価償却費等国庫補助適用	高崎市・榛東村住民に時刻表の配布を行うとともに、各自治体の公共施設等に時刻表を設置し、利用促進を図った。また、沿線施設である相馬原自衛隊で自家用車を持たない若い隊員の帰省に配慮した運行時刻の便を図った。	A	計画通り事業は適切に実施された。	C	輸送人員(目標):30,002人 輸送人員(実績):27,155人 輸送人員は新型コロナウイルスの影響により目標に達しなかった。	沿線住民は勿論のこと、増回理由になった相馬原自衛隊の若い隊員に時刻表を定期的に配布する。増回により隊員の利用も増えた。自衛隊は異動があり若い層の流動も高いので積極的にアピールする。また、県の交通政策課を中心にICカード導入に向けて協議を進めており、キャッシュレス化を目指す。	
	(株)群馬バス 高崎～伊香保	高崎駅～水沢～伊香保案内所の運行 車両減価償却費等国庫補助適用	高崎市住民に時刻表の配布をおこない利用促進を図った。また、引続き榛名湖～伊香保温泉線、伊香保温泉～高崎線へ接続、JRの協力の得てフリーバスを販売し利用客の利便性を図った。	A	計画通り事業は適切に実施された。	C	輸送人員(目標):52,292人 輸送人員(実績):45,898人 輸送人員は新型コロナウイルスの影響により目標に達しなかった。	当系統は期間限定でJR東日本が進めているMaaSのオプションとして参加しており、コロナ禍においてキャッシュレス化を推進している。引続き利用客の利便性の向上を図るべくフリーバスをアピールする。また、県交通政策課を中心にICカード導入に向けて協議を進めており、キャッシュレス化を目指す。また、高崎駅から伊香保間を乗換無しで行けることもアピールしていきたい。	
	(株)群馬バス 高崎～南陽台	高崎駅～農大二高・吉井物産センター～南陽台の運行 公有民営方式車両購入費補助適用	南陽台から旧吉井町へ運行する自家用有償(よいバス)と乗り継ぎ割引を引続き実施し、利便性の確保を行っている。また、高崎市からの強い要請により、R元10月に増回ダイヤ改正を行い沿線住民の利便性を図った。この結果、2つの高齢化している住宅団地の住民の買い物の足として重要な役割を果たしている。また、ノンステップバス導入により高齢者にとっても乗車しやすい環境が整った。	A	計画通り事業は適切に実施された。	C	輸送人員(目標):71,536人 輸送人員(実績):51,892人 輸送人員は新型コロナウイルスの影響により目標に達しなかった。	当系統は南陽台・城山団地という70～80年代頃に開発された丘陵地帯上にある住宅団地と高崎市街地を結んでいる。いずれの団地間も急こう配であり、増回もしたことから高齢者の買い物の足としての役割が薄まった。また沿線には東京農大二高があり、南の白百合の足も多様な役割を担っている。今後はキャッシュレス化が進めばより一層の利便性の向上が得られるので、引き続き高崎市と協力してアピールしていきたい。	
	群馬中央バス株式会社 前橋駅～高崎駅	前橋駅～芝塚～高崎駅の運行	・「夏休み子供定期」の販売促進はできなかった。 ・オープンデータの自社整備を行い、質の高い情報発信を図った。 ・ポケット時刻表を作成し、路線沿線の施設に配布を依頼することができなかった。 ・ドラレコ及びバスカードデータを活用し、利用状況の把握に努めた。	A	計画通り事業は適切に実施された。	C	輸送人員(目標):107,028人 輸送人員(実績):98,000人 輸送人員は上記の通りであり、目標を達成できなかった。(新型コロナウイルスの影響)	・新型コロナウイルス感染症防止対策を万全に行い、バスの安全性をPRする。 ・自社のオープンデータを更に整備しPRを行うことで、分かりやすい路線情報の提供を行う。 ・バスロケーションシステムの実証実験(R2年度)をPRし、利用促進につなげていく。 ・ICカード導入に向けて準備を進めて行く。	・事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施されている。 ・目標・効果達成状況の未達成の要因として、新型コロナウイルス感染症の影響であることが確認できる。 ・関係市町村と連携し、生産性向上の取組を実施しており評価できる。 ・広域な交通ネットワークの構築には、都県にイニシアチブを取っていただくことが重要であることから、市町村と連携を図ったうえで、データを活用しながらモニターを行い、必要に応じて改善していくなど、最適なネットワークの構築に向けて継続的に議論がなされることを期待する。
群馬中央バス株式会社 高崎駅～県立女子大学	高崎駅～上滝・玉村～県立女子大学の運行	・「夏休み子供定期」の販売促進を図る。 ・オープンデータの自社整備を行い、質の高い情報発信を図る。 ・ポケット時刻表を作成し、路線沿線の施設に配布を依頼する。 ・ドラレコ及びバスカードデータを活用し、利用状況の把握に努める。 ・県立女子大学と協力して、利用者ニーズの把握に努め、利用促進を図る。	A	計画通り事業は適切に実施された。	C	輸送人員(目標):45,397人 輸送人員(実績):31,036人 輸送人員は上記の通りであり、目標を達成できなかった。(新型コロナウイルスの影響)	・新型コロナウイルス感染症防止対策を万全に行い、バスの安全性をPRする。 ・自社のオープンデータを更に整備しPRを行うことで、分かりやすい路線情報の提供を行う。 ・バスロケーションシステムの実証実験(R2年度)をPRし、利用促進につなげていく。 ・ICカード導入に向けて準備を進めて行く。 ・県立女子大学及び沿線の大学や高校と連携を取り、利便性の向上に努める。		

群馬県生活交通対策協議会	永井運輸(株) 前橋公園～玉村町役場	前橋公園～前橋駅～玉村町役場の運行 車両減価償却費等国庫補助適用	GTFSデータを利用した「群馬県バスロケーションシステム実証実験」の実験路線として選定され、実証実験へのスムーズな実施及び旅客への高度な情報提供に向けた調整を行った。 バスロケーション実証実験で蓄積されたデータをもとに、かねより遅延があった運行便の時刻改正を実施し、旅客への待ち時間解消及び乗務員の適正な運行が確保できた。前年に引き続き、「前橋工科大21回教券」を作成し、大学生のバス利用が減少する時期の利用促進を図った。 H27年度よりノンステップバスを導入し、合計4両体制で稼働中。(玉村町役場～新町駅と共用)	A	計画通り事業は適切に実施された。	C	輸送人員(目標):60,000人 輸送人員(実績):50,770人 輸送人員は新型コロナウイルス感染症による非常事態宣言及び解除後の利用が大幅に伸び悩み、目標を達成することはできなかった。	駅での鉄道接続を円滑にするため、必要に応じてダイヤ調整を行う。 沿線の公民館や商業施設に時刻表を置かせてもらえるようお願いし、利用促進に向けた一層の努力を行う。 引き続き、「前橋工科大21回教券」を作成し、大学生のバス利用が減少する時期の利用促進を行う。 GTFS-JPデータ提供を引き続き継続し、データ鮮度の維持を継続する。 引き続きバスロケーションシステムの実施及び旅客への高度な情報提供を継続し、「発車案内デジタルサイネージ」などの取り組みを実施したい。 依頼に応じて「バスの乗り方教室」やバス業界への興味関心を惹きつけるための啓発など、子供だけでなく大人や高齢者の方についてもバスに馴染んでいただける機会づくりに積極的に取り組む。 新型コロナウイルス感染症対策を実施。車内への仕切板取り付けや車内消毒、換気等の実施を継続し、安心安全に利用できるよう取り組む。 Twitterでの運行情報送信を継続する。 ICカード導入に向けて準備を進めて行く。	・事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施されている。 ・目標・効果達成状況の未達成の要因として、新型コロナウイルス感染症の影響であることが確認できる。 ・バスロケーションシステムの利用状況などから得られたデータを活用し利用者の流動実態を把握した上で、運行計画の変更は評価できる。 ・広域な交通ネットワークの構築には、都県にイニシアチブを取っていただくことが重要であることから、市町村と連携を図るうえで、データを活用しながらモニターを行い、必要に応じて改善していくなど、最適なネットワークの構築に向けて継続的に議論がなされることを期待する。
	永井運輸(株) 玉村町役場～新町駅	玉村町役場～県立女子大学～新町駅の運行 車両減価償却費等国庫補助適用	GTFSデータを利用した「群馬県バスロケーションシステム実証実験」の実験路線として選定され、実証実験へのスムーズな実施及び旅客への高度な情報提供に向けた調整を行った。 県立女子大学売店にて、群馬県共通バスカードの発売を継続中。	A	計画通り事業は適切に実施された。	C	輸送人員(目標):49,000人 輸送人員(実績):30,576人 輸送人員は新型コロナウイルス感染症による非常事態宣言による大幅減及び沿線大学のリモート授業の影響により伸び悩み、目標を達成することはできなかった。	駅での鉄道接続を円滑にするため、必要に応じてダイヤ調整を行う。 沿線の公民館や商業施設に時刻表を置かせてもらえるようお願いし、利用促進に向けた一層の努力を行う。 GTFS-JPデータ提供を引き続き継続し、データ鮮度の維持を継続する。 引き続きバスロケーションシステムの実施及び旅客への高度な情報提供を継続し、「発車案内デジタルサイネージ」などの取り組みを実施したい。 依頼に応じて「バスの乗り方教室」やバス業界への興味関心を惹きつけるための啓発など、子供だけでなく大人や高齢者の方についてもバスに馴染んでいただける機会づくりに積極的に取り組む。 新型コロナウイルス感染症対策を実施。車内への仕切板取り付けや車内消毒、換気等の実施を継続し、安心安全に利用できるよう取り組む。 Twitterでの運行情報送信を継続する。 ICカード導入に向けて準備を進めて行く。	
	日本中央バス(株) 前橋駅～富士見公民館	前橋駅～田島十字路～富士見公民館の運行 車両減価償却費等国庫補助適用	路線開設当初より、富士見温泉・富士見公民館への時刻表の設置、時刻表への「自転車積載可能」を表示し、周知を図っており、随時補充をしている。GTFS化を行い自社HP上でオープンデータと公開。データの活用について期待をしている。 ご利用状況に応じたダイヤ改正の検討については、ドライブレコーダーやバスカードODデータを蓄積しており、引き続き検討を進める。	A	計画通り事業は適切に実施された。	C	輸送人員(目標):61,060人 輸送人員(実績):43,248人 新型コロナウイルスによる緊急事態宣言発令につき、外出の自粛、学校の休校、テレワークの利用等により利用者が大幅に減少した。	コロナ禍による学校の休校等により、特に学生の利用者が減少したことで、特に沿線学校等へ路線バスの感染対策(オゾン散布装置、換気等)の周知を図ってゆく。 富士見地区のデマンド交通との相乗効果を狙ったダイヤ改正について具体的な方策を定める。 群馬県において実施中のバスロケーション情報を含めた動的な公共交通情報のオープンデータ化について積極的に参画し、利便性向上を図る。 今後の新しい生活様式に合わせ、ICカードの導入等を図り接触機会の低減を図り、その他にも前橋市と共に安心してご利用頂ける方策について検討を行い、実行可能なものから実行する。	・事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施されている。 ・目標・効果達成状況の未達成の要因として、新型コロナウイルス感染症の影響であることが確認できる。 ・バスロケーションシステムやICカードの利用状況などから得られたデータを活用し利用者の流動実態を把握した上で、運行計画改善の検討を進めていくことが望ましい。 ・広域な交通ネットワークの構築には、都県にイニシアチブを取っていただくことが重要であることから、市町村と連携を図るうえで、データを活用しながらモニターを行い、必要に応じて改善していくなど、最適なネットワークの構築に向けて継続的に議論がなされることを期待する。
日本中央バス(株) 前橋駅～八幡橋	前橋駅～前橋西高校～八幡橋の運行 車両減価償却費等国庫補助適用	路線開設当初より、しんとう温泉・樺東村役場への時刻表の設置、時刻表への「自転車積載可能」を表示し、周知を図っており、随時補充をしている。GTFS化を行い自社HP上でオープンデータと公開。データの活用について期待をしている。 ご利用状況に応じたダイヤ改正の検討については、ドライブレコーダーやバスカードODデータを蓄積しており、引き続き検討を進める。	A	計画通り事業は適切に実施された。	C	輸送人員(目標):55,697人 輸送人員(実績):50,518人 新型コロナウイルスによる緊急事態宣言発令につき、外出の自粛、学校の休校、テレワークの利用等により利用者が大幅に減少した。	コロナ禍による学校の休校等により、特に学生の利用者が減少したことで、特に沿線学校等へ路線バスの感染対策(オゾン散布装置、換気等)の周知を図ってゆく。 前橋都心部において、他社と運行間隔を統一化する調整を行い、より利便性を向上させる。 群馬県において実施中のバスロケーション情報を含めた動的な公共交通情報のオープンデータ化について積極的に参画し、利便性向上を図る。 今後の新しい生活様式に合わせ、ICカードの導入等を図り接触機会の低減を図り、その他にも前橋市・樺東村・吉岡町と共に安心してご利用頂ける方策について検討を行い、実行可能なものから実行する。		

群馬県生活交通対策協議会	朝日自動車(株) 本庄駅南口～神泉総合支所	本庄駅南口～小島南・沖電気前～神泉総合支所の運行	①令和元年9月～10月と令和2年3月～4月の共通学生フリーパス販売時期に合わせ沿線学校や、自社ホームページ及びバス車内で周知し、販売促進を図った。 ②沿線施設と協議し企画乗車券導入を検討中。 ③令和元年12月にバスケーショシステムを導入した。	A 事業が計画に位置付けられた通とおり、適切に実施された。	C 新型コロナウイルス感染症の影響により利用者が大幅に減少した結果、輸送人員の目標133,601人に対して実績は125,016人となり目標が未達成となった。	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を実施し安心して利用できるバス車内の環境保持に努める。 引き続き共通学生フリーパスの販売促進を図る。 沿線施設との企画乗車券を導入し観光需要を取込む。 高齢者定期券を検討し高齢者のバス利用へ繋げる。 	<ul style="list-style-type: none"> 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施されている。 目標・効果達成状況の未達成の要因として、新型コロナウイルス感染症の影響であることが確認できる。 「企画乗車券」及び「高齢者定期券」の導入の検討にあたっては、利用者の動向やニーズ等の把握に努めた上で、進めていくことが望ましい。 広域な交通ネットワークの構築には、都県にイニシアチブを取っていただくことが重要であることから、市町村と連携を図ったうえで、データを活用しながらモニターを行い、必要に応じて改善していくなど、最適なネットワークの構築に向けて継続的に議論がなされることを期待する。 	
--------------	--------------------------	--------------------------	---	----------------------------------	---	--	--	--

第三者委員会における各委員からの意見

令和2年度地域公共交通確保維持改善事業第三者評価委員会における委員による以下の助言は、今後の取組みを行う上で必要な観点であり、考慮されたい。

- コロナによって日常の行動変容が起きているが、ポストコロナにおいても、人々の移動を戻していかなければ、街の活性化はない。移動する仕掛けが必要であり、地域戦略が必要。
- 地域公共交通会議の枠組みを最大限活用していただきたい。MaaSの発想、考え方でいろいろな交通手段や活動を繋げていくこと、あるいは、様々なデータをオープンにして共有し、課題を可視化することも公共交通会議で可能。
- デジタル化はニーズを捉える重要なツールであり、マーケティングのツールとしても非常に重要。